

皆さんは、なぜ自分がアトピーなのか、アトピーとは  
どういったものなのか考えたことはありますか？

## 「自分で考え自分で決断する」 長田耕治 30歳

2017年1月31日

「君は黒人やな」私と松本先生との出会いはこの一言から始まりました。小さいころからアトピーがひどかった私は、たくさんのお医者さんにかかりました。あるときは食事療法を取り入れ、またあるときはアトピーに効能のある温泉に行き、そして評判のいいお医者さんの話を聞けば両親が車で片道2時間かかるところを連れて行ってくれました。両親には非常に感謝しています。そのおかげで中学生、高校生、大学生と年齢とともに良くなってきました。しかし、完治には程遠く、肌は乾燥し、痒みがなくなることはありません。そこで、社会人になってからの友達の勧めがきっかけで松本医院を訪れました。

ここで最初の松本先生の一言にもどりますが、黄色人種である私がなぜ黒人のように肌が黒くなったのでしょうか？その答えは松本医院のホームページにある[コラム](#)で詳細が説明されています。気になる方は、是非コラムをご覧ください。

さて、松本先生の診察にて、1番記憶に残っている言葉が「勉強しなさい」です。皆さんは、なぜ自分がアトピーなのか、アトピーとはどういったものなのか考えたことはありますか？私は、恥ずかしいことにこれまでほとんど考えることなく、人生を過ごしてきました。今までのお医者さんは、「この薬を使いましょうか」「症状が酷くなってきたので、ステロイドで抑えましょうか」といった話ばかりで、松本先生のように自分で考えることを促す先生はいませんでした。アトピーとは生涯の付き合いになります。ならそのアトピーについて自分で考え、自分で決断することが必要なのではないのでしょうか。お医者さんの言うことや、周りの評判を頼りにすることは大事ですが、自分から情報を集め考えることを放棄してはいけないと今では感じています。

私が松本医院に通い始めたのは、2016年1月なので、現在で1年ほど経過しました。幸い私はステロイドを10年以上使用してなかったのもので、免疫力の向上によるリバウンドはおとなしいものでした。検査によると免疫力は高くなってきているようですが、まだまだ肌が乾燥し、痒みがあります。自分の免疫力に期待して、今後も頑張っていきます。松本先生、これからもよろしくお願ひします。

